

慶應義塾大学ビジネス・スクール

第2回 幹部育成セミナー

＜グローバル競争時代の戦略企画力・実行力・マインドセットを体得する＞

Management Development Seminar

— Strategic Planning, Operational Capabilities, and Mindset of Successful Global Managers —

2014年6月8日(日)～6月14日(土) [6泊7日]

慶應義塾大学ビジネス・スクール(日吉キャンパス協生館5階)

目的

- 1 経営に求められる基本的能力
- 2 広い国際的視野に立った戦略感覚・実行力
上記の双方を、バランスよく身に付けたマネジャーの育成

特徴

- 1 ケース教材を、より国際色豊かな内容にしています。
- 2 世界各地で活躍する実務家を招聘した講演、
またはワークショップを毎日行い、現実の生々しい
体験を材料に議論を深めます。



基本的経営能力と総合的（グローバル）な視野を養う

本セミナーでは、将来を担う幹部候補に、基本的な経営能力（財務、会計、マーケティング、戦略、生産政策、人と組織等）を、ケース討議を通じて学んでいただくとともに、日本を含む多様な国々を視野に入れてビジネスを構想・展開する際の意思決定力（取るべきリスクを取る能力）を磨いていただきます。

学習手法としては主にケースメソッドを用い、現実の事例を通じて総合的な視点（国や地域、世界市場、非経済的環境など）と個別イシュー（事業の経済性）の視点をバランスよく切り替える体験を積みます。加えて、国際ビジネスにたずさわる第一線の実務家・専門家と、国際的視野に立った戦略の要諦をめぐる対話を毎日行い、彼らがどのように意思決定と戦略実行をなし得たかを体得していただきます。

このように本セミナーでは、企業経営に必須の各機能領域の基礎をバランスよく学ぶと同時に、ビジネスのグローバル化に必要な能力やマインドを養成します。特にこのグローバル化へ向けた能力とは、単に地理的に特殊なノウハウではなく、より普遍的な能力、つまり経営理念に立ち返り、自社にとって本当に意義のある新たな事業機会を総合的見地・地球規模大の視点から取捨選択して捉える能力を意味します。

本セミナーにおける濃縮された体験を通じ、受講者の皆様には「(1) 経営の基礎能力と、(2) 広い国際的視野に立った戦略感覚・実行力の双方を、バランスよく身に付けたマネジャー」への第一歩をぜひ踏み出していただきたいと思います。



スケジュール 6

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

一日のスケジュールは、当校教員による基本的経営諸領域に関わるケース討議を2コマ、その間に実務家・専門家による講演と討議を挿入するという、濃密な構成になっています。すなわち「ケース討議 + 講演 & 討議 + ケース討議」というパターンが毎日続きます。さらに、各参加者の企業にとってのグローバルに事業を展開することの意味を問うセッションをプログラムの初日と最終日に設け、受講前後でどのように意識が変化したのかを再確認する構成となっています。

6/8 (日)	6/9 (月)	
開講式	総合経営	8:30
イントロダクション 主管 岡田 正大 「企業戦略の基本概念」	岡田 正大 信越化学工業	
グループ別討論 「わが社にとってのグローバル化とは」		11:50
昼食		
光富 敏夫氏 「グローバル経営を成功に導く企業理念の共有」	森 茂人氏 「地域と共に成長するビジネスモデル: 足を運び続けた現場で築き上げたウインウインの関係」	13:00
岡田 正大 「未来から現在を透視する2054年のビジョンと今取り組むべきこと」	組織・マネジメント 清水 勝彦 シアーズ・ローバック・カンパニー (A) : 再建	14:50
夕食会		18:10

📖 : ケース討議 🗣️ : 講演

招聘講師

* 招聘講師は出講順



光富 敏夫 氏

ラーニングワークス・インターナショナル代表
グローバルマネジメント研究所取締役パートナー

本田技研工業(株)にて30年間勤務し、国際人事部長、TQM推進室長などを歴任。この間、海外現法の立上げや現地化の推進、および経営理念の世界共有やTQMのグローバル展開を推進。アメリカ、ヨーロッパに11年間駐在。2005年にコンサルタントとして独立。グローバル人材養成や企業理念の共有化およびアジア諸国での人材育成や制度設計などの支援を行う。また、世界に通用する人事の若手を育てるHR塾を主宰する。



槌屋 詩野 氏

IMPACT HUB Tokyo, Director
(株式会社HUB Tokyo, Co-Founder & Director)

NGO勤務を経て、株式会社日本総合研究所にて環境分野・社会的責任投資分野で活動。その後、途上国で日本企業のソーシャルビジネス展開を担当した。2012年より東京に戻り起業。世界的ソーシャルスタートアップ・コミュニティHUBの東京拠点「IMPACT HUB Tokyo」を設立。東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学(相関社会科学)修士課程修了、英国オックスフォード大学(サイド・ビジネス・スクール) Diploma in Global Business修了。監訳「世界を変えるデザイン~ものづくりには夢がある」。



森 茂人 氏

ヤマハ発動機(株) 海外市場開拓事業部
事業企画部 部長

1986年から2年間マラウイ国で青年海外協力隊員として活動。ヤマハ発動機(株)入社後はモーターサイクル事業の海外サービス部門にて主に中南米地域を担当し、1996年よりアルゼンチン、2000年よりメキシコに駐在し、現地法人や組立て工場の立ち上げを行い、2008年から現事業部でアフリカ地域の営業・マーケティングやアフターサービス業務等を統括。



坂田 泉 氏

一般社団法人 OSAジャパン 会長

1955年東京生まれ。京都大学工學院研究科修士課程修了。前川國男建築設計事務所在職中の1994年から1年間、JICA(国際協力機構)派遣専門家としてケニアのジョモ・ケニヤッタ農工大学にて建築教育に従事。2011年、一般社団法人OSAジャパンを設立、会長に就任。「日本のタネをケニアでカタチに」をモットーに、ケニアと日本の間に虹を架けるような仕事を目標としている。主な著作に『ムチョラジ!』(求龍堂・2001年)、『幸せの器』(偕成社・2010年)などがある。

ビジネス・スクール教員

* 講師は出講順



セミナー主管
岡田 正大

総合経営

1985年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。(株) 本田技研工業を経て、1993年修士(経営学)(慶應義塾大学)取得、Arthur D. Little (Japan) を経て、米国Muse Associates社フェロー。1999年Ph.D.(経営学)(オハイオ州立大学)取得。2002年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授を経て、2007年准教授、2013年教授。経済産業省 新中間層獲得戦略研究会、「BOPビジネス支援センター」運営協議会、アフリカビジネス研究会、中南米市場獲得における基礎的調査に係る有識者意見交換会において委員を務める。



清水 勝彦

組織・マネジメント

1986年東京大学法学部卒業。1994年MBA(ダートマス大学エイモス・タックススクール)取得、コーポレートディレクション(プリンシプルコンサルタント)を経て、2000年Ph.D.(経営学)(テキサスA&M大学)取得。同年テキサス大学サンアントニオ校助教授、2006年准教授(デュア取得)。Academy of Management Journal, Strategic Management Journal, Journal of Management Studies, Journal of International Management の編集委員(Editorial Board)を務める。2010年より慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。



小林 喜一郎

総合経営

1980年慶應義塾大学経済学部卒業。1989年慶應義塾大学経営学修士(MBA)。1989年より1993年迄、(株)三菱総合研究所・経営コンサルティング部主任研究員。1996年博士(経営学)(慶應義塾大学)取得。1997年4月より、ハーバード大学ビジネススクールへ留学。2000年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授、2006年教授。2001年~2006年フランスReims Management School客員教授。



浅川 和宏

組織・マネジメント

1985年早稲田大学政治経済学部卒業。(株) 日本興業銀行勤務を経て、1991年MBA(ハーバード大学)、1996年Ph.D.(経営学)(INSEAD)。1995年慶應義塾大学大学院経営管理研究科専任講師、1997年助教授。2004年教授。同年MIT客員研究員。2005-2010年(独)経済産業研究所(RIETI)フェカルティ・フェロー。2011-2012年度文部科学省科学技術政策研究所(NISTEP)客員研究員。2009-2010年APJIM誌 Senior Editor。2009年より米Global Strategy Journal誌のAssociate Editor。米Journal of International Management, Journal of International Business Studies及びAcademy of Management Perspectives誌のEditorial Board。2013年より米Academy of International BusinessのJapan Chapter Chair。

	6/10 (火)	6/11 (水)	6/12 (木)	6/13 (金)	6/14 (土)
8:30	総合経営 小林 喜一郎 □ インド・マドゥライのアラヴィンド眼科病院：視力への貢献	ワークショップ 坂田 泉氏 「ソーシャルデザイングループ OSAのケニアにおける試み - その手法と理念」	会計 大河原 健氏 村上 裕太郎 □ 「事例で考える企業の国際税務戦略への対応」	マーケティング 余田 拓郎 □ サムスン電子:グローバルマーケティング	総合経営 岡田 正大 □ フマキラー・インドネシア
11:50	昼 食				
13:00	槌屋 詩野氏 □ 「ソーシャル・アントレプレナーシップ」	平野 克己氏 □ 「アフリカで戦う企業、アフリカで勝つ企業」	高山 千弘氏 □ 「EーザイにおけるBOPビジネスの取り組み」	長谷川 竜生氏 □ 「東アフリカにおける事業創造」	最終セッション 「グローバル人材としての自己ミッション」 参加者による学びの共有 終講式
14:50	組織・マネジメント 浅川 和宏 □ 資生堂フランス	生産 河野 宏和 □ 東洋シール工業 (株) インドネシア工場	総合経営 磯辺 剛彦 □ サウラー社: 中国での挑戦	経営環境 中村 洋 □ Eーザイ株式会社-中国におけるコンプライアンスへの取り組み-	
18:10					

※内容は直前に変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



平野 克己氏

日本貿易振興機構アジア経済研究所
 上席主任調査研究員

早稲田大学政治経済学部、同大学院経済学研究科卒。グローバルスタディーズ博士 (同志社大学)。在シンバブエ日本大使館専門調査員、笹川平和財団を経てアジア経済研究所に。ウィットウォーターランド大学客員研究員、アフリカ研究グループ長、ジェトロ・ヨハネスブルグセンター所長、地域研究センター長を歴任。著書に『経済大陸アフリカ』『南アフリカの衝撃』『アフリカ問題：開発と援助の世界史』『図説アフリカ経済』などがある。



高山 千弘氏

Eーザイ株式会社 理事
 知創部長

1982年東京大学薬学部卒業後、Eーザイに入社。英国にてMBA(経営学修士)、米国でPhD(医学博士)を取得。1994年米国勤務にてアルツハイマー病治療剤アリセプトの臨床試験、FDA申請、承認を担当。2006年10月から現職。知創部長として、企業理念の実現を目的として、患者様の喜怒哀楽に共感する現場体験研修ならびに患者様に希望を届ける知識創造活動を、Eーザイのグローバル全組織で展開している。



大河原 健氏

ベーカー・マッケンジー法律事務所 代表
 移転価格・経済分析

学習院大学大学院経済学研究科、コロンビア大学大学院国際関係研究科を修了後、コロンビア大学経営大学院日本経済研究所勤務。その後、アーサー・アンダーセン、アーンスト・アンド・ヤング・パートナーを経て、2007年よりベーカー・マッケンジー東京事務所移転価格・経済分析グループ代表。学習院大学経済学部非常勤講師。主な編著書に『実践 国際税務マネジメント』、『Fundamentals of Transfer Pricing in Japan』、『国際税務プランニングの実効アプローチ』等多数。税理士。博士(政策研究)。



長谷川 竜生氏

Organic Solutions Rwanda Ltd. 代表

青年海外協力隊、京都大学大学院でのアフリカ地域研究を経て、ワタミフードサービス株式会社に就職。居酒屋の店員として働きながら調理・接客・店舗経営を学ぶ。その後、月刊『農業経営者』編集部にて転職して、優れた経営を実践する約800人の農家・農業法人を取材。現在はルワンダで微生物資材を製造・販売する現地法人Organic Solutions Rwanda Ltd. 代表として、東アフリカ全域で事業を展開している。



河野 宏和

生産

1980年慶應義塾大学工学部管理工学科卒業、1982年同大学院工学研究科修士課程修了、1987年博士課程単位取得退学、1991年工学博士 (慶應義塾大学) 取得。1987年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助手、1991年助教授、1998年教授となる。2009年10月より、慶應義塾大学大学院経営管理研究科委員長、慶應義塾大学ビジネス・スクール校長を務める。1991年7月より1年間、ハーバード大学ビジネス・スクール訪問研究員。AAPBS (アジア太平洋ビジネススクール協会) 会長、日本経営工学会副会長、TPM優秀賞審査委員、IELレビュー編集委員長。



村上 裕太郎

会計

2000年上智大学経済学部経済学科卒業、2002年大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程修了、2006年同後期課程修了 (博士 (経済学) (大阪大学))。名古屋商科大学会計ファイナンス学部専任講師を経て、2009年より慶應義塾大学大学院経営管理研究科准教授。



磯辺 剛彦

総合経営

1981年慶應義塾大学経済学部卒業。1981年 (株) 井筒屋。1991年経営学修士 (慶應義塾大学)。1996年博士 (経営学) (慶應義塾大学)。1996年流通科学大学商学部助教授。1999年教授。2005年神戸大学経済経営研究所教授を経て2007年慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。この間、1997年スタンフォード大学ビジネススクールに客員研究員として留学。2008年 (一財) 企業経営研究所 (スルガ銀行) 所長。2010年よりAsia Pacific Journal of Management誌のAssociate Editor、Journal of International Management誌のEditorial Board。1999年中小企業研究奨励賞 (商工総合研究所)、2004年及び2006年Winner: Best Paper Awards (Asia Academy of Management Conference)、2010年国際ビジネス研究会賞、義塾賞を受賞。



余田 拓郎

マーケティング

1984年東京大学工学部卒業。住友電気工業 (株) 勤務を経て、1998年名古屋市長官立大学経済学部専任講師。2000年同学部助教授を経て、2002年より慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授、2007年教授。1999年博士 (経営学) (慶應義塾大学) 取得。商品開発・管理学会会長。



中村 洋

経営環境

1988年一橋大学経済学部卒業、1996年スタンフォード大学博士課程修了 (Ph.D. (経済学))、1996年慶應義塾大学大学院経営管理研究科専任講師、1998年助教授、2005年教授。

募集要項

会 期	2014年6月8日(日)～6月14日(土)〔6泊7日間〕
会 場	慶應義塾大学ビジネス・スクール(日吉キャンパス協生館5階)
定 員	40名〔1クラス編成〕
参 加 対 象	企業の幹部・幹部候補の方
受 講 料	462,900円(消費税8%込) ※宿泊費全額と昼食費の一部を含みます。
受 講 方 式	合宿型 ※原則として期間中は研修宿泊施設にご宿泊いただきます。
使 用 言 語	日本語
申 込 開 始	2014年4月上旬 ※参加枠確保のため、あらかじめ下記より「仮登録」をお願いします。
申 込 締 切	2014年5月8日(木)
申 込 方 法	WEBよりお申し込みください。 http://www.kbs.keio.ac.jp/seminar/global-competitiveness/

仮登録受付中

<https://www1.kbs.keio.ac.jp/seminar/2014/>

受講者アンケート (抜粋)

ディスカッションを通じて、多様なものの見方や考え方に触れることができた。

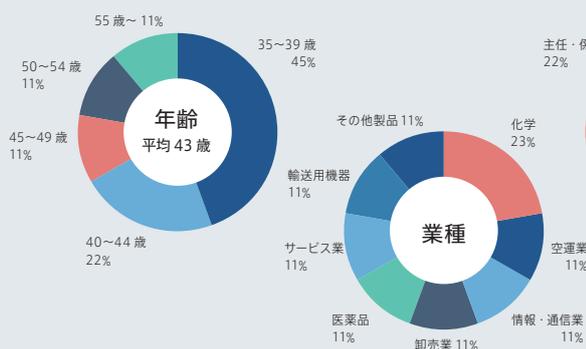
自身の常識や考えの枠を取り払い、広い視野とグローバルな視点で物事を捉えられるようになった。

外部講師の選定がよく考えられており、他ではなかなか呼べない人を呼べる強みがある。プログラムがよく練られている。なにより講師の質が高い。

これまでグローバル化と言えば単に海外市場への拡張のことだと思っていたが、日本本社を含む企業全体の仕組みや個人々の価値観がその前提としてもっと大事なのだと気付かされた。

自分と自社を見つめなおし、革新や成長につながる行動を考えていきたいと思うようになった。

受講者データ (過去1年分) [参加企業8社 参加人数9名]



参加企業リスト (過去1年分)

旭化成ケミカルズ株式会社
ANAホールディングス株式会社
SCSK株式会社
住友商事株式会社
武田薬品工業株式会社
株式会社TBWA\HAKUHODO
トヨタ車体株式会社
三菱鉛筆株式会社

お問い合わせ

慶應義塾大学ビジネス・スクール

セミナー担当

Tel : 045-564-2440

E-mail : seminar@kbs.keio.ac.jp

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

窓口取扱時間 平日 8 : 45 ~ 16 : 45

 KeioBusinessSchool1962

 KBS1962

www.kbs.keio.ac.jp